

歓迎 Welcome

ようこそ歴史と学問の街「みと」へ ～開催地のご紹介～



江戸時代から茨城県の行政、経済、文化の中心地として発展を遂げる水戸市。市の中心部に千波湖を抱え、日本三名園の一つ偕楽園や弘道館など歴史文化遺産が数多く残されています。都心から電車で約1時間20分とアクセスも良好であり、1日では足りないほど見所満載な場所がたくさん！観光スポットやグルメなど、まるっと水戸市をご紹介します。

★ 偕楽園 Kairakuen 常磐町1-3-3



日本三名園の一つ偕楽園は、1842年徳川斉昭公によりつくられました。約13haの広い園内には、約100品種3,000本の梅が植えられ、かぐわしい香りが迎えてくれます。 <水戸駅北口からバスで約20分>



★ 弘道館 Kodokan 三の丸1-6-29



徳川斉昭公により1841年につくられた日本最大級の藩校。敷地内には約60種800本の梅が植えられており、さわやかな香りとともに美しい花びらが咲き誇ります。 <水戸駅北口から徒歩約8分>

水戸学は、水戸藩主徳川光圀公(水戸黄門)の「大日本史」編纂が始まりとされます。江戸時代後期には、斉昭公らが天皇のもと国全体で諸外国に立ち向かう「尊王攘夷」論を示しました。藩を超えて国家的視野から様々な課題に対応する理念が、明治維新や近代日本の形成に大きな役割を果たしました。



弘道館

「水戸が天下の魁となり、日本の国家を護り将来へ発展できる優秀な人材を育成する」とし、徳川斉昭公が創建した水戸藩の藩校。の八卦堂には弘道館の建学の精神を示す「弘道館記碑」が収められている。入館料：大人400円/小中学生・70歳以上200円 開館時間：2/20～9/30 9時～17時 10/1～2/19 9時～16時30分 休館日：12/29～31



水戸城大手門

明治初期に取り壊されるまで、水戸城を代表する門としての役割を果たしていた。景観整備の一環として2020年に復元され、水戸城跡の風情を感じることができる。



水戸城跡二の丸展示館

日本遺産に認定された「近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—」をテーマに、水戸彰考館をはじめてとして、水戸の教育遺産の貴重な出土品や資料を展示。入館料：無料 開館時間：9時～16時30分 休館日：12/29～1/3



水戸城跡二の丸角櫓

水戸城二の丸の南西角にあった二階建ての櫓で、明治中ごろまでに撤去されたが、2021年に復元された。水戸城の歴史に関する資料等を展示。入館料：無料 開館時間：9時30分～16時 休館日：12/29～1/3



水戸東照宮

水戸城で現存する建造物の1つ。正面の軒が深く風格のある門構えとなっているのが特徴。建築年代は、その様式から安土桃山時代末期と推測される。



水戸市博物館

徳川光圀公が生まれ、4歳になるまで過ごした地。水戸黄門神社が建てられている。



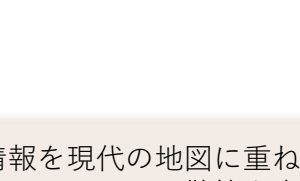
水戸市博物館

祭神は、天照大神の国土平定の祖業に貢献した武甕槌命(タケミカヅチノミコト)で、常陸一の宮である鹿島神宮から分霊を勧請して祀ったもの。



水戸市博物館

水戸藩初代藩主徳川頼房公が家康公を祀る神社として創建。頼房公が奉納した銅灯籠や斉昭公が考案した戦車「安神車」などが現存する。2021年に創建から400年をむかえた。



水戸市博物館

藩政期の水戸の古地図を基にした情報を現代の地図に重ね合わせた「城下町MAP」を手に、このエリアの散策を楽しむのがオススメ。夜のライトアップも必見です♪

<水戸城大手門と白壁堀周辺>

城下町MAPの販売場所や、観光地情報はQRコードからご確認ください。
<水戸観光コンベンション協会HP>



みとのお土産・地酒

Souvenir & Japanese sake in Mito



地酒
県内5つの水系があり、水戸市でもおおらかな自然が生んだ数々の銘酒が味わえる

水戸の梅

白あんと求肥を梅酢に付け込んだシソの葉で包んだ水戸銘菓



吉原殿中

もち米、水飴、きな粉を使った素朴で懐かしいお菓子



のし梅

南高梅・白加賀梅の2種類の国産梅を使い、伝統的な製法で作られている



レアチーズタルト

フレッシュチーズを使用し、さわやかな風味とコクがある

わらつと納豆

稲わらの中で直接大豆を発酵させた懐かしい風味の納豆



なっとうせんべい

パリッとした薄焼きのお煎餅に甘塩っぱいたれとフリーズドライの納豆をのせて焼き上げた



スイートポッテ

茨城県産ほしいもを使ったさつまいもの美味しさがぎゅっと詰まったおまんじゅう

みとの郷土ぐるめ

Local cuisine in Mito

常陸牛

肉の締りやキメ、脂肪の質などの基準が全国トップクラスの茨城ブランド牛



水戸藩ラーメン

黄門様が食べていたラーメンを再現。レンコンを練りこんだ麺と「五辛」と呼ばれる薬味が付くのが特徴



けんちん蕎麦

具だくさんのけんちん汁に蕎麦を入れた郷土食



うなぎ料理

水戸周辺は、かつてうなぎの名産地の一つだった。市内には江戸前うなぎを提供する老舗店が点在している

あんこう鍋

「関東のふぐ」と賞賛される茨城の冬の味覚の代表格



ねばり丼

水戸の名物丼
ねばねば食材大集合！



上記の「地酒・お土産品」は以下のお店で販売しています！

◆エクセルみなみ<JR水戸駅直結>
水戸市宮町1-7-31

◆水戸ドライブインひたちの里水戸インター店
水戸市加倉井町宿後415

その他、お土産店等の情報はQRコードからご確認下さい。



<みとぶらりマップ>

みとの四季

Season of Mito



千波湖畔の桜（4月）

千波湖のライトアップで夜桜も楽しめます



水戸黄門まつり（8月）

水戸の夏の風物詩として愛される祭り
野村花火工業による花火大会は圧巻です



偕楽園内のつつじ（4月～5月）

約380株の霧島つつじやどうだんつつじが咲きます

春

夏



保和苑のあじさい（6～7月）

約100種、6,000株のあじさいが咲き競い、保和苑全体を彩ります

秋

冬

（早春）



歴史館の銀杏並木と 植物公園の紅葉（11月）

黄金のカーペットや
様々な紅葉が秋を彩ります



偕楽園内の梅林（2～3月）

冬から春へ、100品種3,000本の梅の花が咲き誇ります

水戸市でコンベンションを開催しませんか？

水戸観光コンベンションでは、計画段階から開催当日にいたるまで
主催者様をサポートする豊富なメニューをご用意しております。
詳細につきましては、下記までお問い合わせください！



一般社団法人水戸観光コンベンション協会
茨城県水戸市大工町1-2-3 トモスみとビル 3 階

TEL：029-224-0441 FAX：029-224-0442 MAIL：kanko310@sunshine.ne.jp

